

# 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2022年 10月 23日

活動名	水戸まちなかりビング作戦「みとまちなかの森」	
活動団体名	みとまちなかの森 代表 赤岩 正樹	
活動目的	「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」が活動の一環として実施している「みとまちなかりビング作戦」において、循環する自然環境、特に森の大切さを五感で感じる空間を作りたいとの思いで、水戸まちなかの広場でのイベントを企画、開催した。	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃森の恵みを得ながら活動や事業しているメンバーが出展者として集まった。</li> <li>・普段は水戸市内の森林公園等で未就学児のこども連れ家族を対象に自然に親しみながらこどもの遊び場を提供している団体が、まちなかで日頃の活動を再現した。</li> <li>・自然環境に関する書籍を集めた「森の図書館」は、自由に閲覧できるようにするとともに、子供たちが描いた木の絵を掲示した。</li> <li>・会場には、茨城県北のヒノキの丸太を搬入し、自由に利用できるよう配置した。</li> <li>・茨城県北で農業を営む事業者は、無農薬野菜や小麦を使ったパンの販売、地元栽培のハーブを使ったお茶の販売や、中山間地域での活動の様子を紹介する資料等を提供した。16mm フィルムのアニメーション映像を放映し、賑わいを作った。</li> </ul>	
活動写真		
写真説明	チラシ（主にオンライン配信）	「森っこ」森の資源を使ったクラフト体験
活動効果	<p>普段はまちの中心地にありながらひっそりとした芝生広場で、こども達が木工クラフトを夢中で制作したり、歓声をあげながら走りまわったり、自然と触れ合う機会ができた。</p> <p>山や森に関する書籍を手取る大人の姿に環境への関心を伺うことが出来た。</p> <p>販売ブースでは出店者と来場者が笑顔で会話する光景がみられ、交流機会が創出された。</p>	
今後の展望	今回出店協力をいただいた団体の皆さまからは、次年度開催にも賛同をいただくとともに、新たに参加をしたいと希望する団体もあったことから、少しずつ規模を拡大と内容の充実を図りながら、継続実施したいと考えている。	